

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校札幌ビジュアルアーツ
設置者名	学校法人北海道安達学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	音響	夜・通信	2,508 単位時間	160 単位時間	
	ビジュアル・クリエイター	夜・通信	1,290 単位時間	160 単位時間	
	写真	夜・通信	674 単位時間	160 単位時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学習案内/学習指導計画として、入学時、又、進級時、各期オリエンテーション時に紙面にて配布と説明と Web での公開
<https://www.visualarts.ac.jp/oati/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校札幌ビジュアルアーツ
設置者名	学校法人北海道安達学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

Web での公開 https://www.visualarts.ac.jp/oati/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前安達事業グループ ホテル グリーンプラザチェーン 総料理長 萬屋調理師会 役員	R3.6.15 ～ R7.6.14	法人の経営に関する 重要事項を審議する
非常勤	現 ㈱フジタカ 会長	R4.5.14 ～ R8.5.13	法人の経営に関する 重要事項を審議する
(備考) 令和7年5月1日現在			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

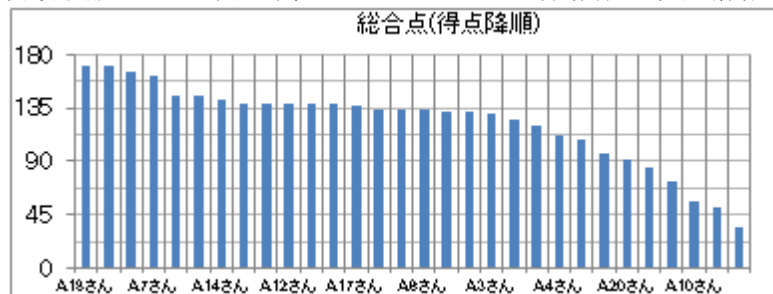
学校名	専門学校札幌ビジュアルアーツ
設置者名	学校法人北海道安達学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・年に1回以上の教育課程編成委員会を以下目的で実施。 ①就職実績など教育成果、②カリキュラム、③教育環境・教材など、について審議。教育効果検証の場として位置付け、社会に貢献できる人材を育成していくための継続的改善について意見交換を行う。教育編成委員会の審議結果を基に、学校担当が中心となってカリキュラムなどの見直しを行い、翌年度のカリキュラムに反映させている。 また、上記等、授業科目等の概要については職業実践専門課程の情報公開としてHPにて公表。 講師側は各年次、各期にて講師会や勉強会を開き、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。 学生には各年次、各期にてオリエンテーションを行い、学生心得、シラバスの配布、授業内容や到達目標、成績評価の基準や卒業要件等の確認説明を行う。	
授業計画書の公表方法	学習案内/学習指導計画として各学生にオリエン時に配布と説明。誰でも閲覧可能な状態で職員室に据え置き。Webでの公開 https://www.visualarts.ac.jp/oati/syllabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ■成績評価の基準・方法：期末考査・出席率・授業態度 各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また2年間の集大成として卒業制作を実施。出席日数、授業態度を平常点として加味し点数化。2020年1年生から成果物の判定にルーブリック評価を導入、判定基準の明示化を進め5段階評価を行う(A(100～80)・B(79～70)・C(69～50)・D(単位認定)・E(49～))	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

各前期、後期中に上記方法にて各科目ごとに5段階A・B・C・D・Eの成績評価を行っている。各科目各成績を点数化(A=4, B=3, C=2, D=1, E=0)し、各個人の総合成績として得点化し、成績分布の把握を行い、下位25%者の確認、成績評価方法の偏りやばらつきや難易度設定や公平性等、カリキュラムや授業編成の改訂情報として活用している。



客観的な指標の
算出方法の公表方法

学習案内/学習指導計画として各学生にオリエン時に配布と説明。誰でも閲覧可能な状態で職員室に据え置きとWebでの公開。
<https://www.visualarts.ac.jp/oati/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。

卒業認定基準

- ・出席率 90%以上・単位修得率 85%以上・卒業制作相当の完成・学費の完納

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学習案内/学習指導計画として各学生にオリエン時に配布と説明。誰でも閲覧可能な状態で職員室に据え置きとWebでの公開。
<https://www.visualarts.ac.jp/oati/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校札幌ビジュアルアーツ
設置者名	学校法人北海道安達学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.visualarts.ac.jp/oati/
収支計算書又は損益計算書	https://www.visualarts.ac.jp/oati/
財産目録	https://www.visualarts.ac.jp/oati/
事業報告書	https://www.visualarts.ac.jp/oati/
監事による監査報告（書）	https://www.visualarts.ac.jp/oati/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化教養		専門課程	音響学科		○		—	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1700 単位時間／単位	0 単位時間	0 単位時間	1848 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	
			1, 848 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
200 人		104 人	1 人	2 人	5 人	7 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各年次、各期にて教育課程編成委員会や講師会を行い、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また2年間の集大成として卒業論文、卒業制作を実施。出席日数、授業態度を平常点(最大15点)として加味し点数化し、各科目ごとに5段階A(100～80)・B(79～70)・C(69～50)・D(単位認定)・E(49～)の成績評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。 卒業認定基準 ・出席率90%以上・単位修得率85%以上・卒業制作の完成・学費の完納
学修支援等

（概要）経済的支援の奨学生制度（試験奨学生、チャレンジ奨学生、高校既卒者・社会人奨学生）、AO 特待生入学、縁故優遇制度、語学優遇制度、在校生表彰制度。就職支援のキャリアセンター、学習支援の購買や図書館、学生生活支援の学生ホール等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35 人 (100%)	0 人 (0.0%)	18 人 (51.4%)	17 人 (48.6%)
（主な就職、業界等）ケイアイエム、ミュージックプレイス、スクランブル、四季、エス・シー・アライアンス テクニランド社、P&L 企画（根室市総合文化会館）、US オーナーズカンパニー、セガ札幌スタジオ、北海道ステージアートアライアンス等。			
（就職指導内容）接遇マナー演習、集団・個人面接練習、筆記試験対策、業界研究会、就職カウンセリング、履歴書の書き方指導、リクルート時の服装指導等			
（主な学修成果（資格・検定等））一般社団法人日本音楽スタジオ協会認定サウンドレコーディング技術認定試験、一般社団法人日本音楽スタジオ協会認定 Pro Tools 技術認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
95 人	13 人	13.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更、人間関係、ついていけない、健康上の理由、学習意欲低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個別面談の実施、教職員同士の情報共有、カウンセリング、転専攻、転学科の実施。学科担当教員が、日頃より学生とコミュニケーションを密にする。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校札幌ビジュアルアーツ
設置者名	学校法人北海道安達学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.visualarts.ac.jp/oati/
収支計算書又は損益計算書	https://www.visualarts.ac.jp/oati/
財産目録	https://www.visualarts.ac.jp/oati/
事業報告書	https://www.visualarts.ac.jp/oati/
監事による監査報告（書）	https://www.visualarts.ac.jp/oati/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	ビジュアル・クリエイター学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			264 単位時間	0 単位時間	1584 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
2 年	昼	1700 単位時間／単位	1,848 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		35 人	2 人	4 人	3 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各年次、各期にて教育課程編成委員会や講師会を行い、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また2年間の集大成として卒業論文、卒業制作を実施。出席日数、授業態度を平常点(最大15点)として加味し点数化し、各科目ごとに5段階A(100～80)・B(79～70)・C(69～50)・D(単位認定)・E(49～)の成績評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。 卒業認定基準 ・出席率90%以上・単位修得率85%以上・卒業制作の完成・学費の完納
学修支援等

（概要）経済的支援の奨学生制度（試験奨学生、チャレンジ奨学生、高校既卒者・社会人奨学生）、AO 特待生入学、縁故優遇制度、語学優遇制度、在校生表彰制度。就職支援のキャリアセンター、学習支援の購買や図書館、学生生活支援の学生ホール等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状態を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17 人 (100%)	0 人 (0.0%)	13 人 (76.5%)	4 人 (23.5%)
（主な就職、業界等）北海道美術センター、セガ札幌スタジオ、MOMO、フィックス、ヴァックスラボ、ナビオコンピュータ、ヴィレッジヴァンガード コーポレーション、Evand、東洋ワーク等。			
（就職指導内容）接遇マナー演習、集団・個人面接練習、筆記試験対策、業界研究会、就職カウンセリング、履歴書の書き方指導、リクルート時の服装指導等			
（主な学修成果（資格・検定等））CG-ARTS 主催「CGクリエイター検定」			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32 人	1 人	3.1%
（中途退学の主な理由） 健康上の理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個別面談の実施、教職員同士の情報共有、カウンセリング、転専攻、転学科の実施。学科担当教員が、日頃より学生とコミュニケーションを密にする。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校札幌ビジュアルアーツ
設置者名	学校法人北海道安達学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.visualarts.ac.jp/oati/
収支計算書又は損益計算書	https://www.visualarts.ac.jp/oati/
財産目録	https://www.visualarts.ac.jp/oati/
事業報告書	https://www.visualarts.ac.jp/oati/
監事による監査報告（書）	https://www.visualarts.ac.jp/oati/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	写真学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1700 単位時間／単位	200 単位時間	198 単位時間	1450 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1, 848 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		26 人	2 人	3 人	3 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）各年次、各期にて教育課程編成委員会や講師会を行い、授業内容や到達目標、成績評価の基準や方法の確認、また、年間授業計画やシラバスの作成や更新を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）各年度(1/2)、各期(前/後)に期末テスト、レポート課題を実施。また2年間の集大成として卒業論文、卒業制作を実施。出席日数、授業態度を平常点(最大15点)として加味し点数化し、各科目ごとに5段階A(100～80)・B(79～70)・C(69～50)・D(単位認定)・E(49～)の成績評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）オリエンテーション時や各ホームルーム時に周期的に以下卒業認定基準を告知し、指導を行う。また進級時や卒業時には学内にて張り出し形式にて公表を行う。 卒業認定基準 ・出席率90%以上・単位修得率85%以上・卒業制作の完成・学費の完納
学修支援等

（概要）経済的支援の奨学生制度（試験奨学生、チャレンジ奨学生、高校既卒者・社会人奨学生）、AO 特待生入学、縁故優遇制度、語学優遇制度、在校生表彰制度。就職支援のキャリアセンター、学習支援の購買や図書館、学生生活支援の学生ホール等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100%)	0 人 (0.0%)	17 人 (89.5%)	2 人 (10.5%)
（主な就職、業界等）六本木スタジオ、ビックカメラ、I AM、リオクリエイティブ（集英社スタジオ）、写真のさとう、リライアブル（コーチャンフォー）、ISEKI Japan 北海道カンパニー、タケザワ写真館、道交技研、北海道美術センター、種田写真館、シュット等			
（就職指導内容）接遇マナー演習、集団・個人面接練習、筆記試験対策、業界研究会、就職カウンセリング、履歴書の書き方指導、リクルート時の服装指導等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	6 人	15.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更、人間関係、健康上の理由、学習意欲低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個別面談の実施、教職員同士の情報共有、カウンセリング、転専攻、転学科の実施。学科担当教員が、日頃より学生とコミュニケーションを密にする。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
音響	150,000 円	700,000 円	330,000 円	
ビジュアル・ クリエイター学科	150,000 円	700,000 円	330,000 円	
写真	150,000 円	700,000 円	330,000 円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）		
情報公開 https://www.visualarts.ac.jp/information/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者評価委員会は学校法人北海道安達学園に位置付け、本法人の各学校に関係の深い企業等関連の方々を中心に、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献、国際交流を評価項目として自己評価し、意見等を聞き、翌年以降の教育活動や学校運営に反映させる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
北海道デザイン協議会 名誉会長	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 1 年更新	団体等委員
北海道訓練士会	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 1 年更新	団体等委員
株式会社きしだ Studio BACU 映像部長	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 1 年更新	企業等委員
株式会社宿屋ネットワーク 代表取締役	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 1 年更新	企業等委員
株式会社カメラのカネミチ 代表取締役	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 1 年更新	企業等委員
ジョイフルエーカー	2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 1 年更新	札幌スクールオブビジネス卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）		
情報公開 https://www.visualarts.ac.jp/information/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<https://www.visualarts.ac.jp/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H101310100236
学校名（〇〇大学 等）	専門学校札幌ビジュアルアーツ
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人北海道安達学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		31人（－）人	26人（－）人	31人（－）人
内 訳	第Ⅰ区分	18人	15人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅱ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				31人（－）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
0	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	人	-	-
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	-
計	人	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。